

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2022-001
2.研究課題名	言語理解と産出の神経基盤の解明：日中比較言語認知科学研究
3.研究期間	2022 年 3 月（倫理審査委員会承認後）～ 2025 年 3 月 31 日
4.研究の概要	意義・目的 私たちは言語を使うことによって、情報を伝えたり相手との心的距離を調整したりしている。対人関係を考慮しながら情報を伝え合うことは、円滑なコミュニケーションのために不可欠である。しかし、対人配慮の方略は、言語を通じて共通する面と異なる面があるので、場合によっては柔軟な異文化間コミュニケーションに支障が生じることがある。日本語と中国語は、同じ東アジアに位置する言語でありながら、各々言語類型論的に異なる特徴を有しており、文化的にも類似する面ばかりでなく異なる特徴が指摘されている。 本課題は、日本語と中国語両言語の母語話者がどのようにして円滑なコミュニケーションをしているのか、その全体像を把握するために、行動及び脳機能という複合的な実験研究によって、書記言語と音声言語の理解と産出のメカニズムを解明することを目的とする。 複数の測定法を組み合わせる本研究の知見により、典型的に異なる言語であっても、話者の個性に応じた妥当な異文化間コミュニケーションができる一助になることを期待している。 方法 本課題で実施する実験では、日中各言語の母語話者を対象とし、神経心理学検査、行動、脳波（事象関連電位）の測定を、次の通りに実施する。 1 書記言語（1-1 読解時間測定、1-2 神経心理学検査、1-3 読解中の脳波測定） 2 音声言語（2-1 音声産出測定、2-2 神経心理学検査、2-3 聴解中の脳波測定） すべての情報は、連結可能な形で匿名化される。実験の謝金については、学内の参加者には時給¥900（本学学生への実験協力謝金規定による金額）、所要時間に応じて銀行振り込みで支払う。 問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学大学院文学研究科言語学研究室（022-795-5983） 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」 倫理審査委員会事務局（022-795-6103）